

# 桜萩会だより

## 新年を迎えて

会長 森永 貞一郎 (田中二回)

桜萩会の皆さん、明けましてお出でようございます。すがすがしい新年を迎えたいと存じます。昨年は桜萩会設立十周年の総会が行われ、皆さんのご努力と、ご協力のおかげで、恒例の宝くじや郷土産物店、郷土芸能もあり、たいへん賑やかに楽しい総会であつた山です。私は出席出来ませんでした。年々総会が盛んになってくるとは、それだけ桜萩会活動が活発になってきていることの現われと大いに喜んで居ります。また、遠く故郷をはなれた関東地域での皆さんの活躍に深く感銘を覚える次第でもあります。今年も六月の桜萩会総会に皆さんが揃って出席されることを待って居ります。

### 記念総会によせて

森山 了 (高六回)

前号(第六号)の「桜萩会会報」で、桜萩会の十周年についての座談会を掲載いたしました。今年の総会は、その十周年記念総会として、六月八日(土)、紀尾井町のザ・フォーラムで午後四時から、百五十分、桜萩会の十周年の歩みの中で少しづつ軌道に乗ってきたように、念願の基金も百万円(定期預金)に達した山、同窓会などで

### 新年御挨拶

幹事長

皆様お元気で新年をお迎えのことと思ひます。昨年は、創立十周年という輝かしい年に、幹事長の重責を果すことが出来、大変光榮に思つております。これも会員皆様及び役員幹事の方々の、絶大なる御協力によるものと感謝致しております。この貴重な経験を生かして二十周年へ飛躍すべく新年に際し決意を新たにしている次第です。今年もより一層の力強いお力添えをお願い致します。桜萩会便りも創刊以来七号に及び、内容も充実、記事も豊富になり、会報らしくなつて参りました。会報がお互いの親睦の和を広げるために重大な役割を果していると言つても、過言ではありませぬ。今後とも年二回の発行は欠かさず続けて参りたいと思ひます。

宮崎県立小林中学校  
小林高等女学校  
小林高等学校  
関東地区同窓会  
編集兼発行人 永崎秀一郎  
陽光印刷内務局  
104 中央区八丁堀  
3-11-13石渡方  
昼03(553)9707  
夜03(615)1795  
昭和61年1月1日発行

十四名の会員の出席を得て盛大に開催されました。会場では、すっかりお馴染みとなり「郷土産物店即売会」も設けられ、また、米賣として小林高校吉田校長をはじめ、ロス・オリンピックの射撃の部で、日本に初の金メダルをもたらした高原町出身の蒲地猛夫選手ご夫妻を迎え十周年にふさわしい総会となりました。

一方では画商を営まれている松尾隆雄氏(高一回)の寄贈の絵画「群れクイナ先達だけは白帽子」「秋アカネ日だけはギロリ」腕の上「霧雨にアオサギ一羽」たゞ立てり「布袋草寄添い咲けり霧雨の沼」(以上於手賀沼)「榎林木洩陽さそう鶯紅葉」(以上於手賀沼)「白山は錦衣すべらせ錦衣立つ」(以上於手賀沼)「白水の滝を舞台に」紅葉舞ふかな「岩垣沼紅葉沈めて黙したり」「峠の木皆這い曲る霧流る」尾根つゞき道細々と「ガス立つ峯へ」(以上於天神峠等)



### 桜萩会十周年祭りに参加して

村田 浩平 (高上二回)

私は毎年六月に行われる桜萩会に今年初参加いたしました。東京に転動して以来約四年の間、旧制小林中・高等女学校・小林高校の在京卒業生が出席される会があることは、うすうす承知して居りましたが、出席の機会を失して居りました。私達34年卒の仲間がこれ迄12回程、年一回東京、熱海方面に集まり同窓会を行つており、毎回20、30人が出席して居ります。この同窓会は同じ年で故郷を離れた20数年を経た者同志が、高校時代の若き時に立戻り、旧交を温め、人生を語り、共通の悩みを忘れる語りあひ、和気あひあひと夜半を過ぎるまで続く非常に楽しい会になって居ります。私はこの楽しい雰囲気の中に同窓会の意義を感じ欠かさず出席して居りました。

### 旧中一回生便り

丸岡 真幸

関東地区では旧中一回生は一人です。八十の声をきく年になりましたがまだ若い心算で居ります。近況など話してみます。昭和六十年一月から十一月十九日まで、手賀沼の鯉釣りに出漁七十五回、釣果四一四匹(三〇種級六五、四〇種級一五八、五〇種級一三三、六〇種級五六、七〇種級三三)時間的には午後一時から三時迄が鯉釣りの勝負時です。(九時台八匹、十時台四一、十一時台四八、十二時台五九、一時台九一、二時台八二、三時台七六、四時台九)釣果という点から水温を見ると度々未満を除けば何れでも釣れる。今年の最高水温二七・五度の時でも良く釣れました。鯉釣りの最高の条件は雨の翌日日出漁のことです。鯉以外はアマゾン釣りの再度挑戦したくポルトガル語をやっています。サッパリ。昨年から自己流の俳句を詠んで勝手に楽しんで居ります。

### 「母校通信」

水井 あつし (田中一回)

この便りを書くころは、運動場のケヤキやイチヨウが葉を落とす道路上をぎわしている頃です。三年生の就職試験の大半は終了し進学希望者は毎年のことながら、二ヶ月後に迫った共通一次試験を目指して最後の調整に追われて居ります。去る八月、同窓会総会が第十四回(昭三七・三月卒)の方々のお世話で開催されました。桜萩会でもお馴染みの黒木和雄(高二)映画監督を招き、講演とその作品鑑賞が行なわれ、アトラクションは、同窓生の中で特別な才能をおもちの方々を招き、テノール独唱・ハルモニカ演奏・ピアノ演奏などその芸の一端を皆さんに披露していただきました。海老原・米良・久保先生方もお見えになり、参加者も二四〇名と年々盛んになって居るようです。来年は第十五回(昭三八・三月卒)の方々にお世話になることになって居ります。生徒諸君は、運動部が活躍して居りますが、女子バスケット部が十一月の新人大会で十一年連続の優



小林高校玄関前蘇鉄

### 映画鑑賞会のお知らせ

橋口 和人 (高一回)

オ一回の映画鑑賞会に引続いて昨年の九月にオ一回の鑑賞会を催す予定でしたが、都合により本年二月中に行うことになりました。黒木和雄監督(高二回)との打合せにより、映画は黒木監督の作品を選び、オ一回と同様、最初に黒木監督のお話があり、上映の後、茶話会にはいる予定です。前回は茶話会はこの茶話会で話がはずみ、予定時間を大巾に超過してしまいましたが、参加された方々も大変感銘を受けられ是非この鑑賞会を続けて欲しいとのことでした。映画のみどころや製作の裏話等非常に貴重なお話を聞くことが出来ます。開催の日時、場所につきましては、詳細がまきましたら学年幹事を通じて皆様にお知らせ致します。多数の同窓生の皆様の御参加をお願い致します。

「カラ蒸しのこ、だけ涼し」文字摺の花「群れクイナ先達だけは白帽子」「秋アカネ日だけはギロリ」腕の上「霧雨にアオサギ一羽」たゞ立てり「布袋草寄添い咲けり霧雨の沼」(以上於手賀沼)「榎林木洩陽さそう鶯紅葉」(以上於手賀沼)「白山は錦衣すべらせ錦衣立つ」(以上於手賀沼)「白水の滝を舞台に」紅葉舞ふかな「岩垣沼紅葉沈めて黙したり」「峠の木皆這い曲る霧流る」尾根つゞき道細々と「ガス立つ峯へ」(以上於天神峠等)

日本・ポーランド合作ドキュメンタリー「祭の準備」「川橋」の黒木和雄(高二回)監督の構成、演出による、

あけましておめでとうございます

森永貞一郎 (田中二回) 電話(〇三)九二一三〇〇五

小山長規 電話(〇三)九二一三〇〇五

衆議院議員 電話(〇三)九二一三〇〇五

小林市長 電話(〇九八四)三二五三三

森祐一郎 (田中十五回) 電話(〇九八四)二一四七九二

橋口和人 (高一回) 電話(〇四)五二五二六六

日高省三 (高二回) 電話(〇三)三三〇一三六

松尾隆浩 電話(〇三)九二一三〇〇〇

森永貞一郎 (田中二回) 電話(〇三)九二一三〇〇五

小山長規 電話(〇三)九二一三〇〇五

衆議院議員 電話(〇三)九二一三〇〇五

小林市長 電話(〇九八四)三二五三三

森祐一郎 (田中十五回) 電話(〇九八四)二一四七九二

橋口和人 (高一回) 電話(〇四)五二五二六六

日高省三 (高二回) 電話(〇三)三三〇一三六

松尾隆浩 電話(〇三)九二一三〇〇〇

### 小林高校同窓会ゴルフコンペ

#### 才二回東西対抗戦

高千穂会に惜敗、雪辱ならす  
東軍幹事 永崎 秀一郎 (高四回)

初回大変好評であった東西対抗戦は、今年も又、絶景の富士山をバックにした伊豆国際カントリークラブに於て、熱戦が展開された。参加メンバーは、西軍十名、東軍十四名で、今年も接戦であろうという戦前の予想通り、少差で西軍に凱歌があがった。東軍は惜しくも二連敗と涙を呑んだ次だが、今年も阪神タイガース優勝、日本一という関西勢は乗りに乗っている。東軍としては、来年を期すことにした。

個人優勝は、自他共に実力No.1を誇る西軍山口静美さん(高四回)が、新ペリヤ方式の利点を有効に生かして、昨年に続き二連覇を達成した。準優勝は当クラブメンバーである永崎秀一郎選手が、地の利を生かしての成績であった。三位は、西軍の水江一巳さん(高六回)が初出場ながら頑張って入賞、ベストクロスは東軍永崎、西軍渡辺浩(高九回)の両者が相譲らず86で並んだ。

当日は快晴であったものの、伊豆名物の強風が吹き荒れた上に、

### 学年だより

日高 省三 (高二回)

私の事務所にはゴキブリがいる。小さい。小林のそれは大きかった様に思う。ゴキブリが羽ぶのを知っている人は少ないが、夜中、一人で受検勉強していると羽んだものだ。東京では羽んでいるのを見ることがない。

私はいま、夢を実現させつつある。夢を見る様になるのに18年かかった。生まれてから高校卒業までである。夢を現実のものとするのに18年かかった。卒業から現在までである。私はいま、設計事務所の所長になった。会社を退職し、独立して、資本金を集め、社長に納まった。5階級特進ぐらいのものか、でも一人である。所員はいない、募集中である。机が二つ、打合せテーブルが一つ、小さいが名実ともに

成績結果 一位(西) 山口静美  
アウト52、イン45、グロス97、ハンディ28・5、ネット71・5、二位(東) 永崎秀一郎、アウト44、イン42、グロス86、ハンディ14・4、ネット71・6、三位(西) 水江一巳、アウト50、イン56、グロス106、ハンディ33・6、ネット72・4、四位(西) 柳敏行、アウト52、イン52、グロス104、ハンディ31・2、ネット72・8 (高一回)



いざ出陣 (始球式風景)

東西対抗戦——この言葉に、私は達はとも懐かしい響きを覚え、六回生に確実な打点王の存在、等々全く懸念はなかった筈なのです。そして、吹きました、神風です。あとでさとりました、西風だ

再会(総会)を期して  
謹んで新春の御祝詞を申し上げます。一九八六年、桜会の皆様も御健康裡に希望に満ちた、佳き新春をお迎えの事と、心からお慶びを申し上げます。

才二回桜会  
ゴルフ大会開催  
桜会便り才六号でご紹介しました桜会ゴルフ同好会による才二回大会を、四月二十八日(日)南富士カントリー倶楽部に於て、予定通り開催しました。

高尾山 遠足の事  
十月二十七日、高尾山の遠足を計画致しました。秋の行楽シーズンの為か出席の通知がほとんどなく、(通知を幹事に出して同期の人をさそつて)書いておいたのですが、幹事の方々の都合が悪くて自分が行けないのに人に行きなさいとは云えないと云ふ様な事で橋口氏が取りやめましよう云つて来ましたが、永崎氏に云ふと、「いや行きましよう。日高さんも家族で参加すると云っていましたから」の事で行く事にしました。高尾山の駅に集まる事にしていたので、一人で行くのもつまらないと孫をつれて出掛けました。でも晴天に恵まれてまだ紅葉にはちょっと早かったのですが、おいしい空気を吸って一日楽しく過ごしました。

再会(総会)を期して  
謹んで新春の御祝詞を申し上げます。一九八六年、桜会の皆様も御健康裡に希望に満ちた、佳き新春をお迎えの事と、心からお慶びを申し上げます。

再会(総会)を期して  
謹んで新春の御祝詞を申し上げます。一九八六年、桜会の皆様も御健康裡に希望に満ちた、佳き新春をお迎えの事と、心からお慶びを申し上げます。

再会(総会)を期して  
謹んで新春の御祝詞を申し上げます。一九八六年、桜会の皆様も御健康裡に希望に満ちた、佳き新春をお迎えの事と、心からお慶びを申し上げます。

再会(総会)を期して  
謹んで新春の御祝詞を申し上げます。一九八六年、桜会の皆様も御健康裡に希望に満ちた、佳き新春をお迎えの事と、心からお慶びを申し上げます。

再会(総会)を期して  
謹んで新春の御祝詞を申し上げます。一九八六年、桜会の皆様も御健康裡に希望に満ちた、佳き新春をお迎えの事と、心からお慶びを申し上げます。

再会(総会)を期して  
謹んで新春の御祝詞を申し上げます。一九八六年、桜会の皆様も御健康裡に希望に満ちた、佳き新春をお迎えの事と、心からお慶びを申し上げます。

再会(総会)を期して  
謹んで新春の御祝詞を申し上げます。一九八六年、桜会の皆様も御健康裡に希望に満ちた、佳き新春をお迎えの事と、心からお慶びを申し上げます。

再会(総会)を期して  
謹んで新春の御祝詞を申し上げます。一九八六年、桜会の皆様も御健康裡に希望に満ちた、佳き新春をお迎えの事と、心からお慶びを申し上げます。

再会(総会)を期して  
謹んで新春の御祝詞を申し上げます。一九八六年、桜会の皆様も御健康裡に希望に満ちた、佳き新春をお迎えの事と、心からお慶びを申し上げます。

再会(総会)を期して  
謹んで新春の御祝詞を申し上げます。一九八六年、桜会の皆様も御健康裡に希望に満ちた、佳き新春をお迎えの事と、心からお慶びを申し上げます。

再会(総会)を期して  
謹んで新春の御祝詞を申し上げます。一九八六年、桜会の皆様も御健康裡に希望に満ちた、佳き新春をお迎えの事と、心からお慶びを申し上げます。

再会(総会)を期して  
謹んで新春の御祝詞を申し上げます。一九八六年、桜会の皆様も御健康裡に希望に満ちた、佳き新春をお迎えの事と、心からお慶びを申し上げます。

<b>田中瑞穂</b> (高六回) 事務所 〒214 川崎市多摩区生田四一八二二 電話(〇四四)九三二一五八二	<b>西山勝高</b> (高四回) 事務所 〒132 東京都江戸川区平井四一三 電話(〇三三)六三三二七六三 自宅 〒281 千葉県浦臼台十四一八 電話(〇四七)四八八〇四八二	<b>中協信雄</b> (高四回) 代表取締役 中協建設株式会社 〒240 横浜市保土ヶ谷区法泉町 電話(〇四五)三五二一三三三	<b>戸高松栄</b> (高四回) 代表取締役 株式会社 トダカ 〒125 東京都葛飾区白鳥一十一 電話(〇三三)六九二一六二五	<b>前村洋</b> (高五回) 代表取締役 前建設株式会社 〒194 東京都町田市鶴川 電話(〇三三)七四五一六四一	<b>西田忠司</b> (高五回) 代表取締役 大洋金属工業株式会社 〒254 平塚市夕陽ヶ丘七二一四 電話(〇四六)二二二二二二五	<b>木下剛</b> (高四回) 代表取締役 株式会社 木下商店 〒254 平塚市夕陽ヶ丘七二一四 電話(〇四六)二二二二二二五	<b>立野輝二</b> (田中十七回) 事務所 〒100 東京都千代田区神田駿河台 三丁目一番地日光ビル4階 電話(〇三三)二九二一九四六五	<b>弁護士 立野輝二</b> (田中十七回) 事務所 〒100 東京都千代田区神田駿河台 三丁目一番地日光ビル4階 電話(〇三三)二九二一九四六五
--	--	--	--	---	--	--	--	--